

「Yurikago Nature Center」

～ 七国用地の現状と展望② ～

H23. 12. 20 Yurikago

12月17日に「YNC自然体験親睦会」を開催しました。保護者の皆様を現地にご案内する初めての場でもありましたが、親子合わせ300名近くの方にご参加を頂き、にぎやかに行うことができました。当日、新用地（YNC）の展望について園長よりお話しした内容、またボードにて掲示発表した内容の一部を以下にご紹介をさせていただきます。

～未来予想図～

むかしむかし、ここは豊かな「里山」でした。この周辺に住む人たちは、この雑木林で薪をとり、椎茸を育てたり、山菜を採ったり、畑の肥料に使う落ち葉を採ったりしてたくさんの「恵み」を与えてくれるこの山を大切にしてきました。家の周りには、畑や田んぼ、小川や草原があり、子どもたちは、こうした自然とのつながりが見える環境で生活し、自然の中で目を輝かせ、五感を使い、思う存分に遊んでいました。特に面白い遊具があるわけではないのに、豊かな自然は子どもたちの心を十分に満たしてくれました。

そこには今の時代に必要とされる「生きる力」が確かに存在していました

ゆりかご幼稚園では、これまで園庭に「身近な自然」を取り入れ、子どもたちが主体的に関わる中で、興味・関心の芽を育て、「生きる力」が育まれるような取り組みに力を注いできました。

ここ、ネイチャーセンターでは、更に理想の環境を追求し、園庭をそのまま里山に戻していく「園庭里山化」を掲げています。自然と関わり、自然を育てていく過程を通して、大いに遊び、学び、育ち合う場を創造していきたいと考えています。

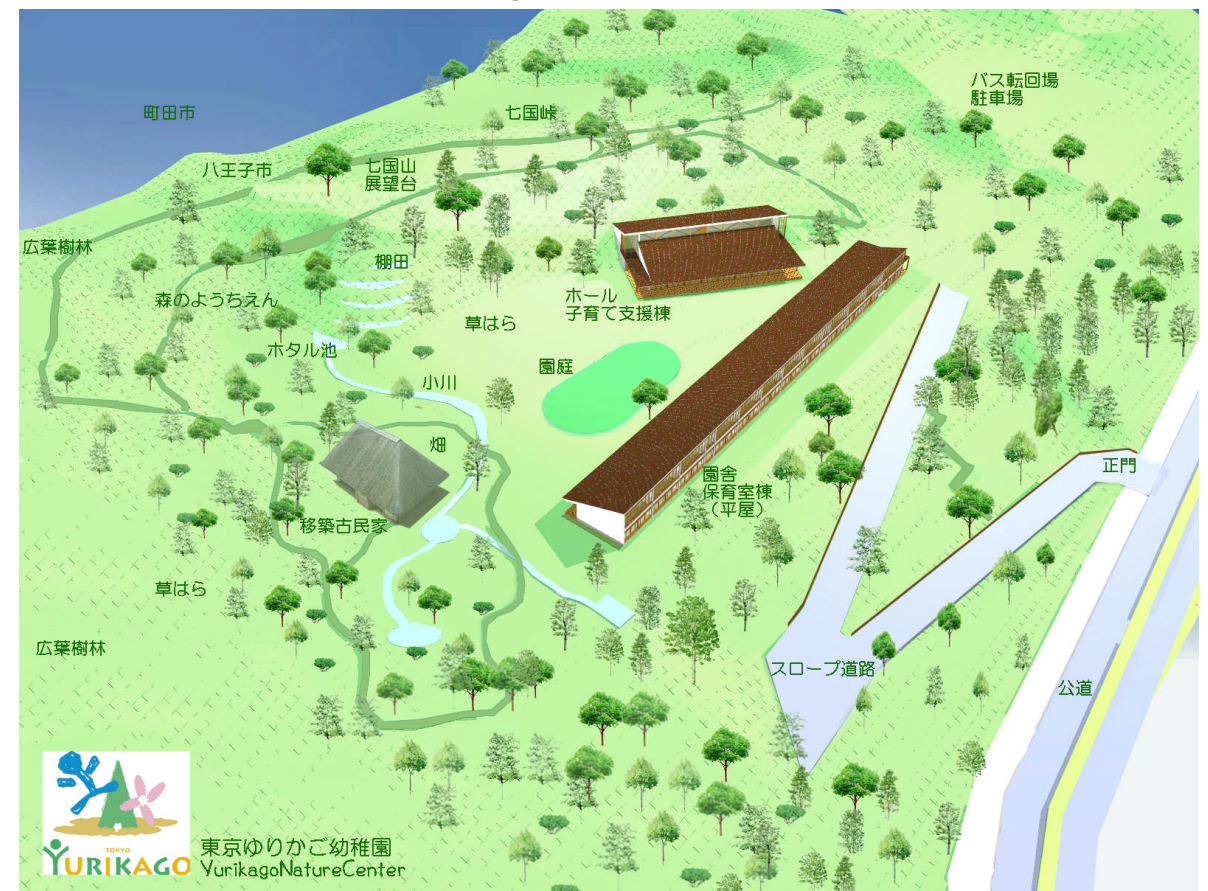
今は一面「土の大地」ですが、ここに木を植え、草を生やし、花を育てていきます。日々生長していく植物を見ながら、子どもたちは自らの心をも成長させていきます。やがて子どもたちが大きくなった時、、、ここはどんな環境に育っているのでしょうか。

豊かな里山に育っていることを願って、今日、皆さんと共にその第一歩を記したいと思えます。どうぞ皆様のご協力をお願い申し上げます。

平成23年12月17日

園長 内野彰裕

●東京ゆりかご幼稚園・Yurikago Nature Center イメージパース



イラストはイメージですので多少異なる場合もありますが、園舎は周囲の自然と共生するよう、木を多用した平屋建築で、「子どもが自ら伸びゆく力」を奪ってしまわぬよう、シンプルな園舎を予定しています。

また、ゆくゆくは園舎と別に、コミュニティーセンターとして「古民家」移築を予定しています。親子が集い、気軽に話したり、食べたり、笑いあえる場を創造していきたいと考えています。

園舎は平成25年度中の完成、平成26年度の開園を目指しておりますが、様々な状況により変化する場合があります。

開園後もYurikago Nature Centerとしての機能は継続し、乳幼児、小学生、親を対象とした自然体験施設として公益性を高めていく予定です。